動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話 （鉄電） 千葉 2935・2936番
（公） 043（222）7207番

95.10.13 No. 4276

労働運動の新たな潮流路線を基軸に反戦闘争の復興を勝ちとろう！

10・21国際反戦デーを闘おう

沖縄県民の怒りに応え 米軍の少女乱暴事件弾劾！ 基地撤去！安保粉砕！

中仏核実験反対！ 日本の核武装とアジア再侵略を許すな！

戦後五〇年目の十・二一国際反戦デー中央集会が、東京・文京区民センターで行なわれる。

われわれは、この一九九五年、「第二次世界大戦」から五〇年目の節目の年にあたり、いまこそ反戦・反核・反基地・反侵略闘争を、労働運動の新たな潮流路線の基軸として、再構築＝復興を勝ちとらなければなりません。

戦争責任の居直りを許すな！

村山内閣の「戦後五〇年国会決議」、「民間基金」の募金開始に対して、アジアと日本各地では戦争責任追及・戦後補償要求の闘いが燃え上がりました。

八・一五集会を頂点にして、盛りあがったこの闘いをさらに引き継ぎ、軍隊慰安婦とされた人たちの、「真相究明、謝罪、国家賠償、責任者処罰」の要求を断固支持し、「民間基金」反対の運動を大きく広げようではありませんか！

核実験反対！核武装阻止を！

フランスは、全世界の怒りの声を無視して二度目の核実験を強行しました。また、中国も十月中に核実験を強行しようとしています。まさに核軍事力を背景に相争う、世界戦争の時代―「核抑止力」という名の核軍拡競争による、来るべき戦争に生き残ろうとする、帝国主義本来の姿をここにはっきりとみることが出来ます。

こうしたなか日本政府は、「核実験反対」のポーズをとりながら、他方では青森県・六ヶ所村、「もんじゅ」、東海村を結ぶ核燃料サイクルを確立し、独自の核武装の道をひた走っています。日本の核武装への衝動は、新たなアジア侵略を矛先としてますます強まっているといえます。

われわれは、タヒチ―広島―長崎を結ぶ、反核闘争の波をさらに拡大しなければなりません。

日米地位協定撤廃、基地撤去、安保体制の粉砕を闘いとろう！

米兵による少女乱暴事件への怒りが渦巻く沖縄では、全県的な「日米地位協定撤廃、基地撤去」を求める声が高まっています。太田知事は、沖縄県民の土地を米軍用地として強制的に使用する土地調書の手続きなどへの、「代理署名」を拒否することを公表しました。少女乱暴事件は、基地の存否をめぐる問題にまで発展し、安保体制を大きく揺るがせています。沖縄現地の怒りの決起に応えようではありませんか。

大反動攻撃を打ち砕こう！

この全国各地、いや世界中でまき起こっている怒りと闘いをさらに大きく広げ、破防法発動、自衛隊・安保強化、二月PKO、ゴラン高原派兵、アジア支配の枠組みをめぐって、最大の激突点になろうとしている、十一月大阪APEC（アジア・太平洋経済協力会議）、改憲策動など、相次ぐ村山内閣の大反動攻撃と対決し、これを打ち砕こうではありませんか！

われわれは、全国各地の仲間とともに、十・二一国際反戦デーに決起しよう！

この闘いを通して、「戦後五〇年」攻撃を粉砕する、新たな潮流の大攻勢を実現しよう！

米兵事件 3000人が抗議

米兵の少女乱暴事件に抗議する沖縄の労働者

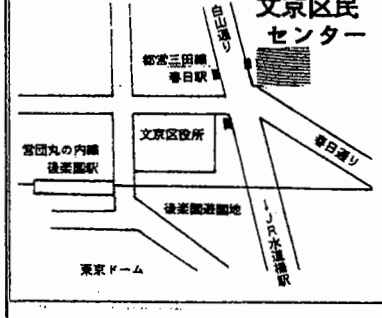
中仏核実験反対！ 日本の核武装とアジア再侵略を許さない

10・21 国際反戦デー中央集会

10月21日（土）午後5時半～
文京区民センター

●講　演
反核闘争の高揚と日本の核武装　吉田義久（相模女子大教授）

●特別アピール
破防法発動に断固反対する　（弁護士）
安保と自衛隊、2月PKOゴラン高原派兵阻止へ　片岡駿二（反戦自衛官）
「民間基金」反対の訴え、沖縄からのアピール　などを予定

●基調報告　長谷川英憲（東京反戦共同行動委員会代表）
●決意表明　学生、労働者
※集会後にデモを行います。

指定列車　千葉駅八番線　十六時八分発快速列車最後部